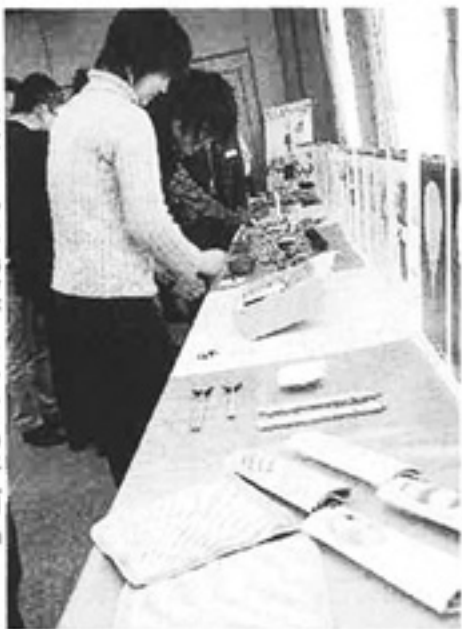


取
鳥
新
ラ
ブ

11社が20商品

出来栄え確認、意見交換

鳥取市の商工業者や行政、商工会議所などで構成する地域ブランド研究会が研究開発し



展示された鳥取ブランドの新品

イヤーら約40人が、商品の出来栄えを確認、さらなる商品開発に向けて意見を交わした。

研究会は、市が立ち上げたとっとりブランド戦略会議内の組織。

「売れる商品100社100品、売上額10億円」の目標を実現するため、デザイナーや専門研究者をアドバイザーに商品化を進めてきた。

この日、発表されたのは11社20商品で、食品系は7社13商品、非食品系が4社7商品。

このうち同会議の事務局を務めるシセイ堂デ

ザイン（鳥取市）は、「スワンセ」のブランド名で商品化した砂丘らっきょうピクルスなどの商品を展示した。同ブランドの商品は、すでに県内外の20店舗で販売されているとい

同社の植木誠社長は「新商品について雑誌やマスメディアを通して、首都圏に向けて発信するとともに県内消費も進めていきたい。特に観光拠点に使っていただくよう働き掛けていく」と話していた。